

国際ハードウェアメッセ、最大級のハードウェアマーケットとしての位置づけを 確かなものに

124 カ国から約 56,500 人の専門ビジターが来場、質の高い来場者に 52 カ国 2,686 社のサプライヤーも大満足

3月3日(水)、ケルン国際ハードウェアメッセが素晴らしい成果と参加者の満足のうちに終了しました。4日間で124カ国から約56,500人の専門ビジター(2008年は63,000人)が来場し、「工具」、「工業用品」、「留め具・金具」、「ロック・金具」および「Home Improvement／DIY」の各部門で新製品や新技術に関する情報を収集しました。52カ国から2,686社のサプライヤーが参加した国際ハードウェアメッセは、あらためて、ハードウェア分野における世界最大の業界プラットフォームとしての位置づけを確かなものとししました。ケルンメッセのオリバー・P・クアト副社長は、「景気が低迷する中、国際ハードウェアメッセはドイツ国内外のハードウェア業界に弾みをつけるものになりました。出展者が満足していることから明らかなように、産業および業界のパートナーとの協力というコンセプトが結実しました。今後もその積み重ねに努めていきます」と述べました。来場者のうち、ドイツ国外からの来場者の割合は59%でした。出展者からは、「専門ビジターの質が非常に良く、ケルンでは大型小売店か専門業者かを問わず、ドイツ国内外の重要な意思決定者に数多くコンタクトした」という声が多く聞かれました。

国際ハードウェアメッセでは、製品を新たに「工具」、「工業用品」、「留め具・金具」、「ロック・金具」および「Home Improvement／DIY」の5部門に区分し、出展者と来場者の両方から好評を博しました。ヴィッテ社のマネージングパートナーであり、ハードウェアメッセ諮問委員会の委員長でもあるJ・ヴォルフガング・キルヒホッフ氏は、「国際ハードウェアメッセは、ハードウェア分野における最大級の国際プラットフォームとしての地位を確かなものにしました。開催前には多くの関係者がやや控えめな予想をしていましたが、変わる事のない高い国際性により、予想を上回る成果となりました」と述べています。最大の部門である「工具」部門では、製品ラインアップの層の厚さと幅広さが際立っていました。2,000社を超える企業が手動工具や電動工具から電動工具用アクセサリまで、広範囲にわたる製品を展示しました。「工業用品」部門では、約300社が工業用品／ワークショップや工場用機器を展示しました。「留め具・金具」部門では150社のサプライヤーが新技術を紹介し、「ロック・金具」部門では約100社のメーカーが新製品や新技術を展示しました。また、「Home Improvement／DIY」部門では建築資材やDIY用品の展示が行われました。

国際ハードウェアメッセの出展者の80%以上は、ケルンで新規のビジネスパートナーを開拓し、グ

グローバルなコネクションを構築しようとするドイツ国外からの出展者でした。ドイツ以外では、中国、台湾、インドおよび米国からの出展者が大きな割合を占めました。米国のハードウェアメーカー連合 (AHMA) のティモティ・S・ファレル会長兼 CEO は、「国際ハードウェアメッセに参加することは、米国企業がグローバル市場に参入するための最良の方法です」と述べています。ヨーロッパで出展者数が最も多かった国はイタリアで、それにイギリス、フランス、スペインが続きました。

さらなるプラットフォーム拡大を求める業界団体

この見本市に参加した産業・業界団体が発表している前期の業績は様々です。ドイツの工具業界は、2009 年に一部で大幅な落ち込みに見舞われており、国際ハードウェアメッセを契機に 2010 年の販売に弾みがつくことを期待しています。ドイツ工具産業協会 (FWI) のライナー・ランゲリュデック専務理事は、「2009 年は困難な年でしたが、ドイツの工具メーカーはケルンでその革新性を実証し、ドイツ国内外の多くの来場者と積極的に打ち合わせや会議を行いました」と述べました。工具業界の企業を対象に FWI が調査を行ったところ、36%の企業が 2010 年の経済状況について、わずかながら改善するとの楽観的な見方をしています。ドイツ DIY・ホームセンター・ガーデニングセンター連盟 (BHB) は、前年の売上増加もあり、今後の状況を楽観視しています。BHB の Dr. ペーター・ヴェルスト専務理事は、「BHB は、この見本市が質と新技術に焦点を当てていることを歓迎しています。今年は、ドイツ国内外のサプライヤーが非常に多くの新技術を展示しました。そのため、BHB 加盟企業のバイヤーの多くはとても満足しています。ただし、展示対象の製品について、一部の主要企業が出展していなかったのは残念でした。マッチングサービスをはじめとする多様な付随プログラムで見本市をサポートすれば、さらにより良いものになるでしょう」と述べました。BAU +DIY メーカー連盟の加盟企業は、2009 年の危機的状況の中でも存在感を示すことができました。BAU +DIY メーカー連盟のラルフ・ラーメデ専務理事は、「一方では多くのメーカーの新技術と、他方では来場者の質の高さが見本市の至るところで際立っていました。このトレンドが継続され、国際ハードウェアメッセが見本市としてさらに発展するよう協力していきます」と述べました。ハードウェア販売業中央連盟 (ZHH) のトーマス・ダンマン会長は、参加業界のコミュニケーションフォーラムとしてのケルン国際ハードウェアメッセの意義を強調し、「この見本市は、コンタクトや取引のきっかけを得るうえで理想的なプラットフォームです。新しい製品区分も好評です。これを積み重ねていき、ヨーロッパの他の主要メーカーとともに業界の拡大・発展を図っていくことが現在の目標です」と述べています。

質の高い専門ビジター

出展企業は、来場者調査からも確認されるように、専門ビジターの質の高さに非常に満足しています。来場者調査に対する回答者のうち、76%以上が購買・調達における意思決定の責任者であるか、意思決定に強い影響力を持つ立場にありました。また、約 50%は各企業の管理職者でした。専門ビジターの 50%以上は異なる業態に属しており、来場者の約 35%が業界のバイヤーでし

た。インタビュー対象者の 88%は、同僚にケルン国際ハードウェアメッセへの来場を薦めるとして
います。

大好評の講演会、特別ショーおよびイノベーションセンター

パネルディスカッション、講演会および製品デモ: 工具のあらゆる側面に関する情報とエンターテイ
メントをミックスした部門フォーラム「ツールライブーハイライト・オンステージ」は今年も来場者から
大好評でした。特別ショー「生産性、安全およびエルゴノミクスを向上させる現代の電動工具」展で
は、ドイツ工具産業協会 (FWI) およびドイツ工具博物館の協力で電動工具メーカー17 社の展示品
が紹介され、大きな関心と注目を集めました。また、ジークフリートレーン出版社の協力で企画され
たファスニングテクノロジーイノベーションセンターでは、留め具・金具技術における計 19 社の新製
品、新技術およびトレンドが紹介されました。今年、表彰台に上がったのは、高い締結力と圧縮効
果を発揮する全ネジ「HECO-UNIX」のヘコーシュラウベン社、木材連結金具
「SHERPA®-Verbinder XL」のヴィンツェンツハラー社 (オーストリア) および電動ハンマー
「Hammerhead™」のシェルボンヨーロッパ社 (イギリス) でした。

多機能、高効率、省エネ: 5 部門における製品トレンド

ケルン国際ハードウェアメッセ 2010 に関する数値

ケルン国際ハードウェアメッセ 2010 では、52 カ国 (2008 年: 61 カ国) から 2,686 社 (2008 年: 3,360
社) が参加し、うち 85% (2008 年: 77%) がドイツ国外の企業でした。ドイツ国内からの出展者は
395 社 (2008 年: 599 社 + 代理出展 30 社)、ドイツ国外からの出展者は 2,291 社 (2008 年: 2,671
社 + 代理出展 60 社) でした。見本市最終日の概算を含めると、ケルン国際ハードウェアメッセ
2010 には 124 カ国 (2008 年: 129 カ国) から 56,500 人の専門ビジター (2008 年: 専門ビジター 63,000
人 + エンドユーザー来場者 7,000 人) が来場し、うち 59% (2008 年: 58%) はドイツ国外からの来場
者でした*。

* 数値はすべて、ドイツ見本市自主統計協会 (FKM) が定めたガイドラインに従って集計されてお
り、会計検査官の審査を受けています (www.fkm.de)。